

流山市
汚泥再生処理センター建設工事
請負契約に係る総合評価
審査結果報告書

平成20年 4月

流山市汚泥再生処理センター建設工事
請負契約に係る総合評価競争入札審査会

委員長 石原重雄

目 次

1 . 審査会の構成	1
2 . 審査会の審査	2
3 . 審査の経過	3
4 . 審査の結果	5
(1) 資格審査	5
(2) 書類確認	5
ア 入札書類の確認	5
イ 入札価格の確認	5
(3) 定量化審査	5
ア 一般要求事項	5
イ 特定要求事項	6
ウ 入札価格の得点化	6
エ 総合点数の算出	7
オ 優秀提案の選定	7
5 . 審査結果の講評	7
(1) 総評	7
(2) 各審査	7
6 . 審査を終えて	8

1. 審査会の構成

流山市では、市域で排出されるし尿及び浄化槽汚泥を、市所管のし尿処理施設で処理している。現有施設は、昭和50年度に稼動し、度重なる増改造を経て現在に至っており、経年的な使用に伴う設備装置の老朽化、搬入状況の変化による処理機能への影響など、数多くの課題を抱える状況である。

市では、このたび、現有施設の課題を解消し、より効率的かつ効果的なし尿処理を行うとともに、循環型社会の形成に貢献することを目的として、施設の全体更新を行うものとした。新たに整備する施設では、衛生処理を主目的とした従来のし尿処理施設から脱却し、処理汚泥や剪定枝の資源化など、有機性廃棄物の処理とリサイクルを複合的に行うものとする。そのため、施設整備事業は、環境省所管の「循環型社会形成推進交付金事業」として実施し、施設を有機性廃棄物リサイクル推進施設（汚泥再生処理センター）として整備することとした。

計画する施設の整備にあたっては、周辺環境へ十分配慮しつつ、信頼性の高い処理と資源化が効率的に行えるよう配慮する必要があることから、処理や資源化の安心、安全はもとより、効率性、合理性に配慮しつつ、経済的な施設整備を行うため、計画施設の設計・施工業者を公募し、総合評価方式により落札者を決定するものとした。

本施設建設工事に係る請負契約に係る総合評価競争入札審査会（以下「審査会」という。）は、本施設建設工事の設計・施工業者を公募し、総合評価方式により落札者を選定するために設置されたものである。

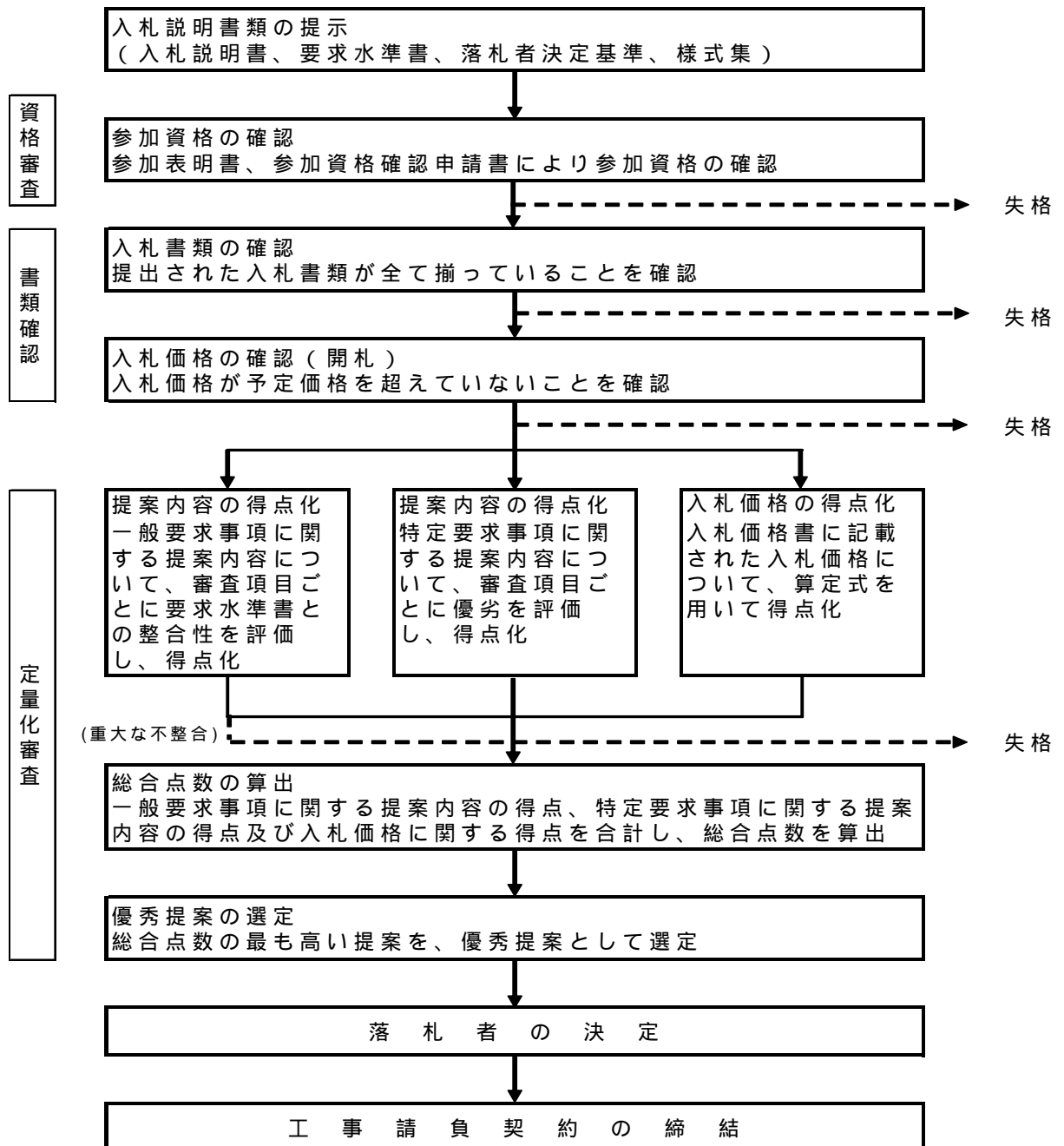
なお、審査会は、次に示す3名の学識経験者からなる外部委員及び流山市代表4名の計7名で構成され、委員長は、流山市汚泥再生処理センター建設工事請負契約に係る総合評価競争入札審査会要領の規定に基づき副市長とし、職務代理者は総務部長が指名された。

委員長	石原 重雄	（流山市副市長）
職務代理者	戸部 幹夫	（流山市総務部長）
委員	松尾 吉高	（中央大学理工学部土木工学科教授）
委員	青井 透	（国立群馬工業高等専門学校環境都市工学科教授）
委員	篠山 浩文	（明星大学造形芸術学部造形芸術学科教授）
委員	染谷 郁	（流山市企画財政部長）
委員	松本 公男	（流山市環境部長）

2. 審査会の審査

審査会は、流山市汚泥再生処理センター建設工事落札者決定基準（以下「落札者決定基準」という。）に基づき審査を行い、図-1で示す経緯を経て優秀提案を選定した。

図 - 1 審査会における審査の流れ



3. 審査の経過

審査会における審査の経過状況等を以下に示す。

平成19年 4月27日	: 審査会委員委嘱式 : 第1回流山市汚泥再生処理センター 建設工事請負契約に係る総合評価競争 入札審査会（委員長の指名、職務代理 者の指名）
平成19年 6月29日	: 第2回流山市汚泥再生処理センター 建設工事請負契約に係る総合評価競争 入札審査会（落札者決定基準の審議）
平成19年10月10日	: 第3回流山市汚泥再生処理センター 建設工事請負契約に係る総合評価競争 入札審査会（落札者決定基準、要求 水準書、入札説明書、様式集の審議 及び決定）
平成19年10月31日	: 入札公告及び入札説明書等の公表 （流山市公告第187号）
平成19年11月 8日 ~ 9日	: 入札説明書類に関する質問受付 （第1回）
平成19年11月14日	: 入札説明書類の質問に対する回答公表 （第1回）
平成19年11月 9日 ~ 16日	: 参加表明書及び参加資格審査申請書の 受付
平成19年11月26日	: 参加資格審査の結果通知書の交付
平成19年12月 3日 ~ 10日	: 入札説明書類に関する質問受付 （第2回）

- | | |
|-------------|---|
| 平成19年12月21日 | : 入札説明書類の質問に対する回答
(第2回) |
| 平成20年 1月21日 | : 入札書類の提出及び入札 |
| 平成20年 3月31日 | : 第4回流山市汚泥再生処理センター
建設工事請負契約に係る総合評価競争
入札審査会(入札参加資格審査及び
入札書類審査の報告と確認、技術提案
内容(一般要求事項、特定要求事項)
の審議) |
| 平成20年 4月18日 | : 第5回流山市汚泥再生処理センター
建設工事請負契約に係る総合評価競争
入札審査会(技術提案内容の得点化
(一般要求事項、特定要求事項)、入札
価格の得点化(入札価格点数の算出)、
総合点数の算出、優秀提案の選定、講
評の審議及び決定) |

4. 審査の結果

参加者は、参加者番号1から4までの4社であった。これらの参加者に対する審査結果は以下に示すとおりである。

(1) 資格審査

審査会は、各参加者から提出された入札参加資格審査申請書及び入札参加資格審査申請書を落札者決定基準に基づいて審査した結果、参加者4社すべてが当該資格要件を満足していた。

(2) 書類確認

ア 入札書類の確認

各参加者から提出された入札書類を落札者決定基準に基づいて確認した結果、参加者すべて入札書類が揃っていることを確認した。

イ 入札価格の確認

参加者4社すべての入札価格が、流山市が設定した予定価格以下であることを確認した。

(3) 定量化審査

ア 一般要求事項

一般要求事項は、参加者から提出された技術提案書に記載された具体的提案内容について、要求水準書に示す要件を満たしているか否かを落札者決定基準に示す評価基準及び配点に基づいて、審査項目別に評価を行い得点化した。その審査結果を表-1に示す。

表 - 1 一般要求事項の審査結果

審査項目	配点	参加者番号	参加者番号	参加者番号	参加者番号
		1	2	3	4
設計仕様書と要求水準書の整合性に関する事項	5	1.25	2.50	3.75	1.25
設計計算書と要求水準書の整合性に関する事項	5	1.25	2.50	3.75	2.50
図面類と要求水準書の整合性に関する事項	5	3.75	3.75	5.00	5.00
工事施工計画と要求水準書の整合性に関する事項	5	3.75	2.50	3.75	2.50
一般要求事項の得点合計	20	10.00	11.25	16.25	11.25

イ 特定要求事項

特定要求事項は、参加者から提出された技術提案を審査したうえで、落札者決定基準に示す評価基準及び配点に基づいて審査項目別に評価を行い得点化した。

その技術審査結果を表 - 2 に示す。

表 - 2 特定要求事項の審査結果

審査項目	配点	参加者番号	参加者番号	参加者番号	参加者番号
		1	2	3	4
汚泥・剪定枝等の適正な資源化に関する事項	10	5.00	5.00	5.00	7.50
使用エネルギーの削減に関する事項	10	5.00	5.00	5.00	10.00
環境保全対策、環境負荷の削減に関する事項	10	5.00	5.00	5.00	7.50
景観等、周辺環境との調和に関する事項	10	5.00	5.00	5.00	7.50
維持管理コストの削減に関する事項	10	5.00	5.00	2.50	10.00
特定要求事項の得点合計	50	25.00	25.00	22.50	42.50

ウ 入札価格の得点化

価格点数は、入札参加者から提出された入札価格書に記載された入札価格を落札者決定基準に示す算定式に基づき算出した。

その入札価格および価格点数を表 - 3 に示す。

表 - 3 入札価格の得点化結果

審査項目	配点	参加者番号1	参加者番号2	参加者番号3	参加者番号4
入札価格(円)		1,750,000,000	1,870,000,000	1,715,000,000	1,550,000,000
価格点数	30	13.3	3.3	16.3	30.0

エ 総合点数の算出

総合点数は、定量化（一般要求事項・特定要求事項・入札価格）審査結果に基づき算出した。

その結果を表 - 4 で示す。

表 - 4 総合点数の算出結果

審査項目	配点	参加者番号	参加者番号	参加者番号	参加者番号
		1	2	3	4
一般要求事項	20	10.00	11.25	16.25	11.25
特定要求事項	50	25.00	25.00	22.50	42.50
入札価格点数	30	13.3	3.3	16.3	30.0
総合点数	100	48.30	39.55	55.05	83.75

オ 優秀提案の選定

優秀提案の選定にあたっては、定量化（一般要求事項・特定要求事項・入札価格）審査結果に基づき総合点数を算出した。その結果、総合点数の最も高い参加者番号4の提案を優秀提案として選定した。

5. 審査結果の講評

(1) 総評

本事業は、流山市汚泥再生処理センターの建設を行うもので、工事部門として総合評価一般競争入札方式の導入は流山市で最初であったが、慎重かつ確実な手続きの進行に努めることが出来た。

審査にあたっては、公平性を確保し評価ができるように、参加者名を匿名化し、委員全員の合議により採点した。

(2) 各審査

技術提案事項の一般要求事項は、最高が16.25点、最低が10点で、大きな差はみられないが、提出資料に不整合が見受けられ減点となっており、もう少し高得点が望まれたところである。

特定要求事項は、1社が40点台で、他社は評価項目において一定の評価ができる（標準）20点台となり、大きな差が見られた。高得点の主な理由は、新しい技術の導入、リサイクルの促進、効率的な維持管理など、提案内容に適切な積極性が見られたことである。一方今後解決して行かなければならない課題もあった。

入札価格は、各社予定価格以内であるが、最低価格と最高価格の差が3億円以上あり、この差が入札価格点数に反映された結果となった。

以上を踏まえ、技術提案と入札価格で最高得点となった参加者が、総合点数で最高得点を獲得し、優秀提案者として選定された。

最後に、参加された各社には、市の要求水準書の内容に沿って検討し、技術提案書を提出された多大なる努力と意欲に、敬意を払うと共に感謝する。

6. 審査を終えて

流山市汚泥再生処理センター建設工事の総合評価一般競争入札の参加者は4社であり、各参加者からの提案等は、匿名により厳正に審査した。

なお、それぞれの参加者は下記のとおりである。

参加者番号	1	2	3	4
会社名	水道機工 株式会社	三機工業 株式会社	三井造船環境 エンジニアリ ング株式会社	アタカ大機 株式会社 東京事業所